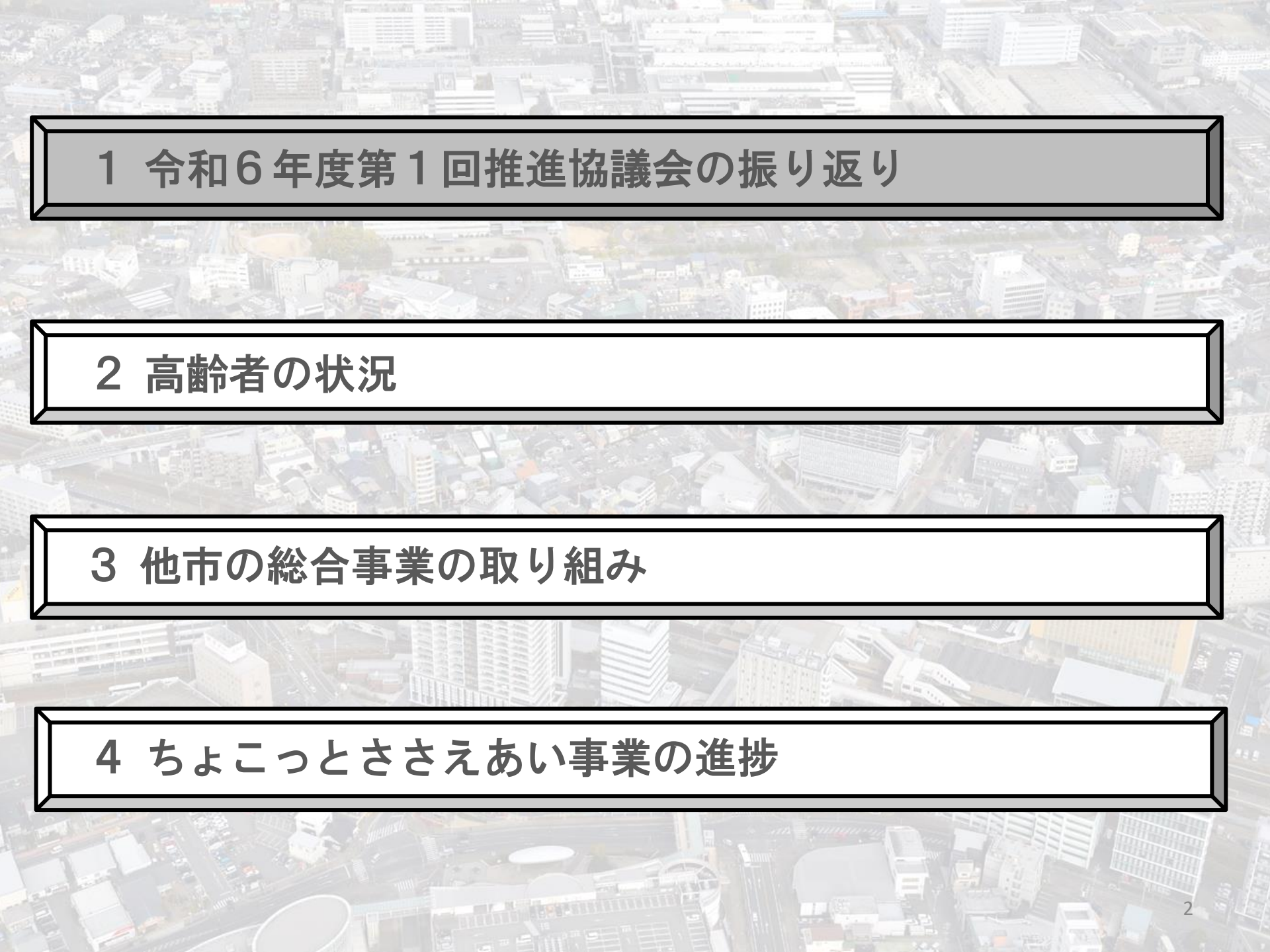


令和6年度

第2回 刈谷市生活支援・介護予防 体制整備推進協議会

刈谷市役所長寿課



1 令和6年度第1回推進協議会の振り返り

2 高齢者の状況

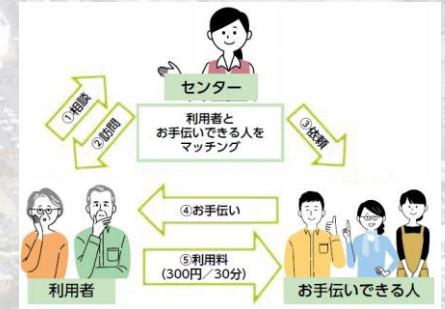
3 他市の総合事業の取り組み

4 ちょっととささえあい事業の進捗

1 令和6年度第1回の推進協議会の振り返り

R6.1 回目の協議会で出た主な内容 (ちょこっとささえあいに関すること)

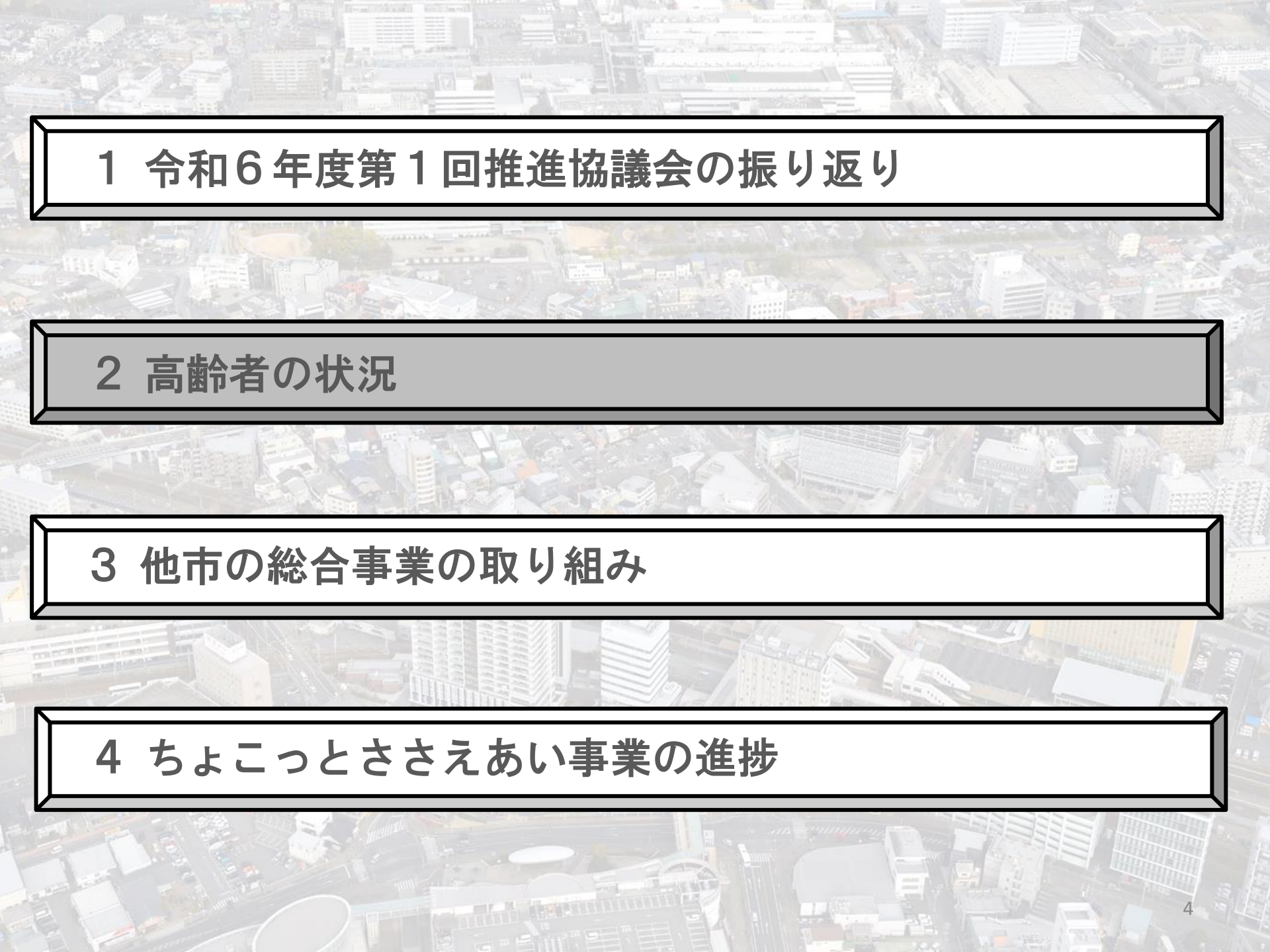
- ・ 愛教大生に向けメールシステムの活用による周知
- ・ 企業内での周知活動
- ・ サポートまでの一連の流れが動画であるとお手伝いのイメージができる
- ・ オンラインによるサポーター講座の受講
- ・ 企業、大学・高校、地域の中の社会福祉団体それぞれできるとがあるので、働きかけていく



ケーブルTVにて、取材あり。講座で放映

【効果】

動画を導入後、活動のイメージがしやすくなり、講座受講者のうち9割以上が、サポーター登録へ（放映前は受講者のうち半分程度がサポーターへ）



1 令和6年度第1回推進協議会の振り返り

2 高齢者の状況

3 他市の総合事業の取り組み

4 ちょっととささえあい事業の進捗

2 高齢者の状況

令和5年3月31日(人口と高齢化率は令和5年4月1日)の数値

人口	152,428人
高齢化率(65歳以上の割合)	20.5%(9市の中で4番目の高さ)
要介護認定率	17.4%(9市の中で2番目の高さ)
事業対象者数	367人
要支援者数	1,841人
要介護者数	3,642人
第1号保険料月額	5,900円(9市の中で2番目の高さ)

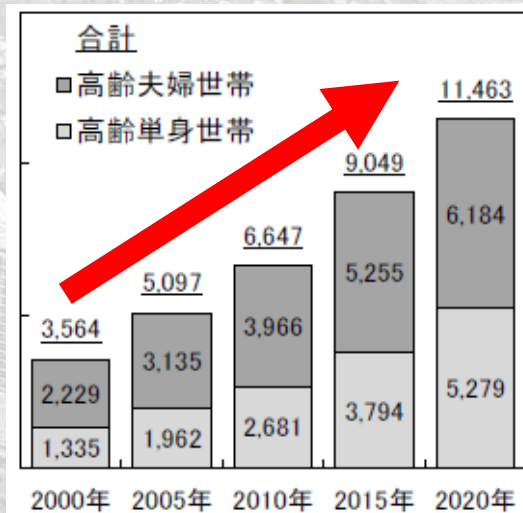
※9市・・・刈谷、岡崎、碧南、豊田、安城、西尾、知立、高浜、みよし市

2 高齢者の状況

■要支援・要介護認定者数の推移



■高齢者世帯数の推移



2020年の全世帯数：67,646世帯
65歳以上の方がいる世帯数：19,746世帯
(うち高齢夫婦・単身世帯は58%を占める)

高齢夫婦世帯が**2.8倍**に増加！
高齢単身世帯が**3.9倍**に増加！

高齢者だけ世帯の生活は不安に・・・

課題①

支援を必要とする高齢者が年々増加！！

2 高齢者の状況

◇介護職員数推計結果

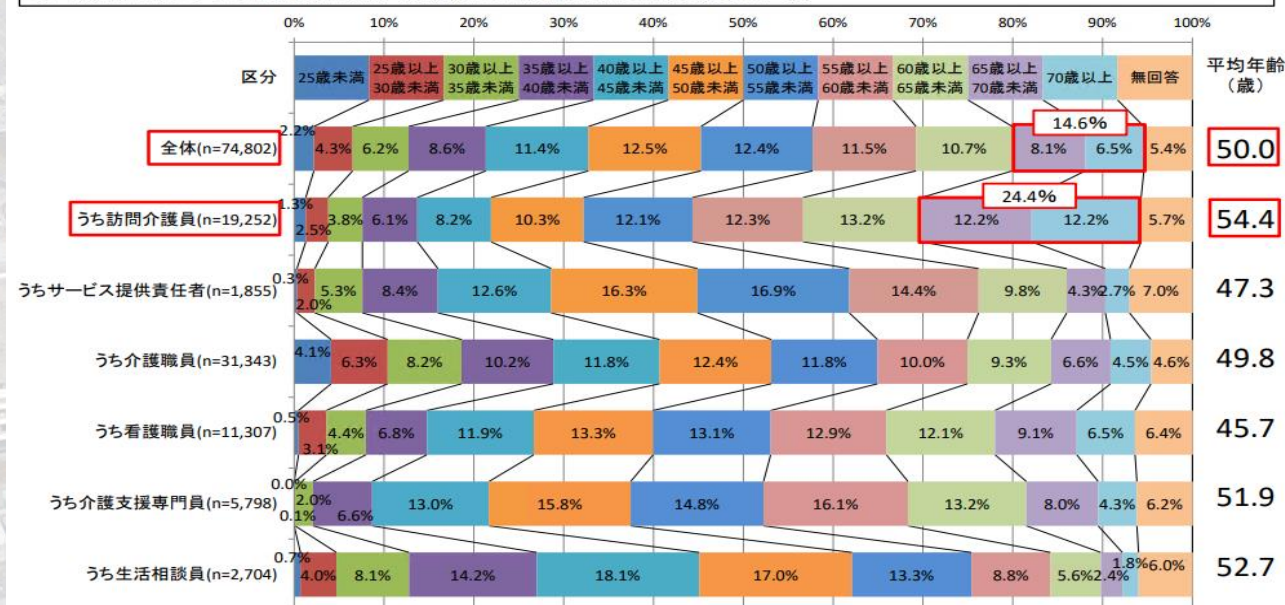
資料:愛知県 単位(人)

	需要推計	供給推計	需要と供給の差
2023年	113,987	106,573	7,414
2025年	121,007	107,637	13,370
2030年	132,436	109,002	23,435
2035年	139,089	108,630	30,459
2040年	140,940	106,368	34,572

需要が供給を大幅に上回る！！

介護関係職種別の年齢階級別構成割合及び平均年齢

- 介護関係職種全体の平均年齢は50.0歳、65歳以上の構成割合は14.6%となっている。
- 訪問介護員の平均年齢は54.4歳、65歳以上の構成割合は24.4%となっている。



出典：令和3年度介護労働実態調査「事業所における介護労働実態調査」(公益財団法人 介護労働安定センター) (R3.10.1時点)

35

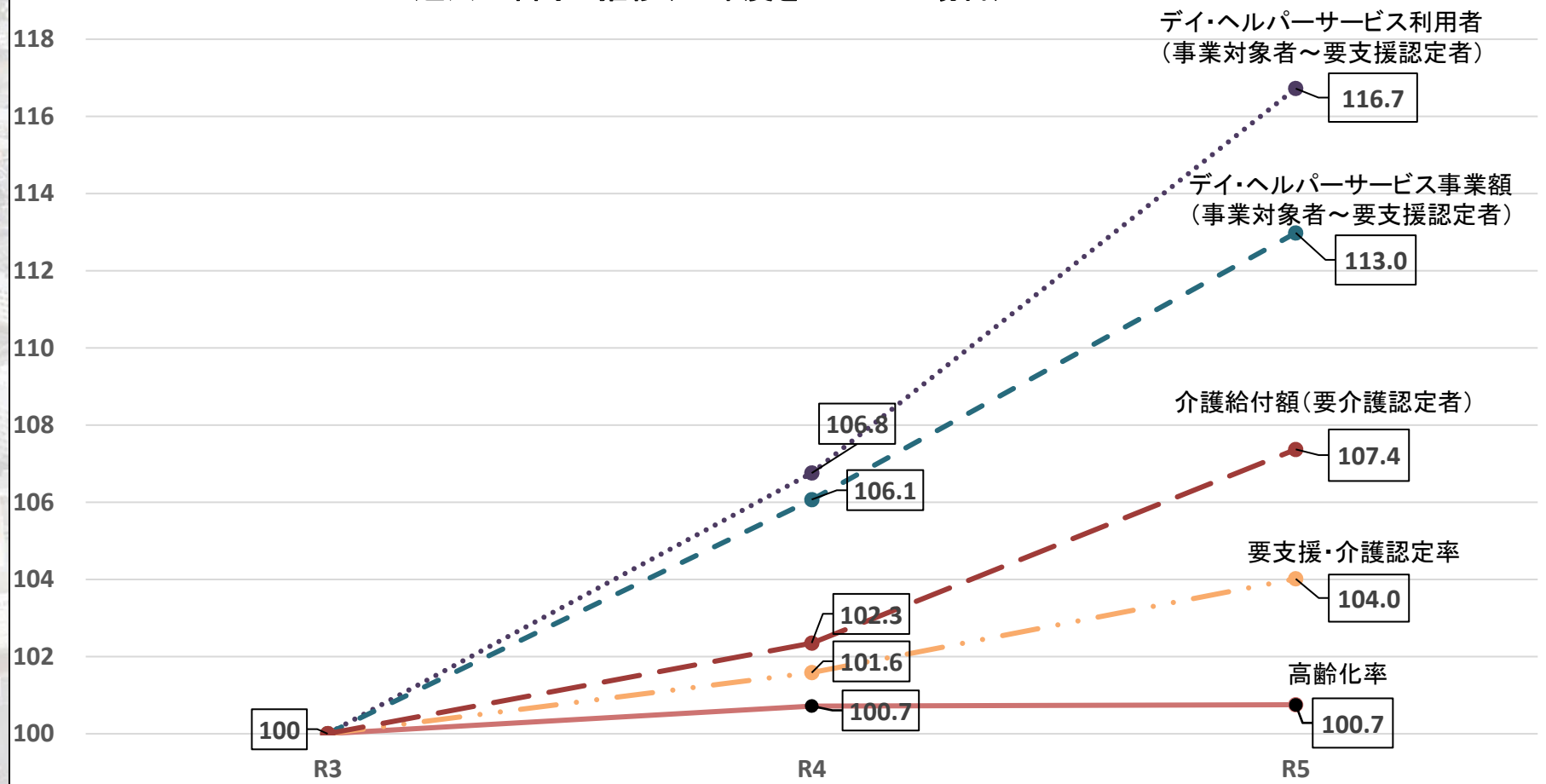
課題②

介護人材は不足かつ高齢化・・・

介護専門職の支援が受けられない事態に・・・

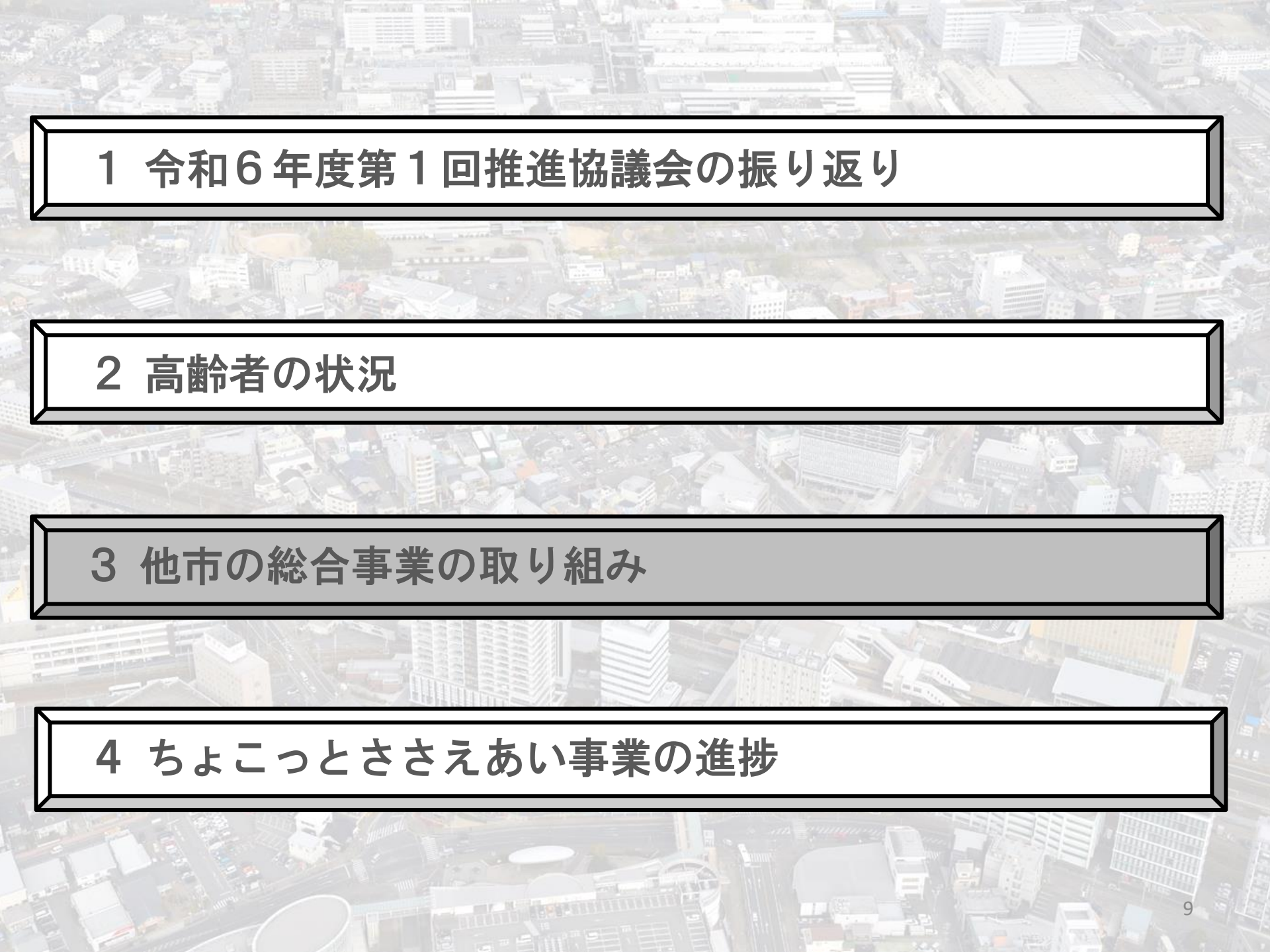
2 高齢者の状況

過去3年間の推移(R3年度を100とした場合)



課題③

高齢化率は横ばいにも関わらず、介護サービスの利用や金額、
認定率は毎年上昇 ⇒ 介護保険料の増額に影響



1 令和6年度第1回推進協議会の振り返り

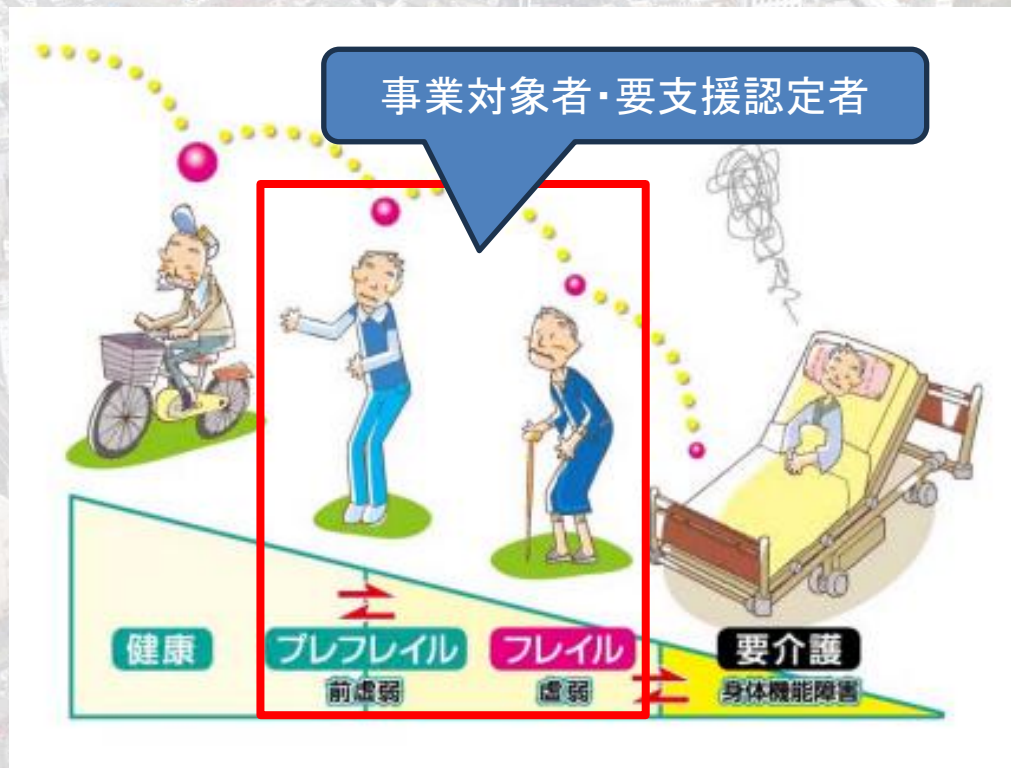
2 高齢者の状況

3 他市の総合事業の取り組み

4 ちょっととささえあい事業の進捗

3 他市の総合事業の取り組み

これからは、プレフレイル・フレイルになってしまった方をしっかりと
改善させる仕組みを構築していく必要がある！！



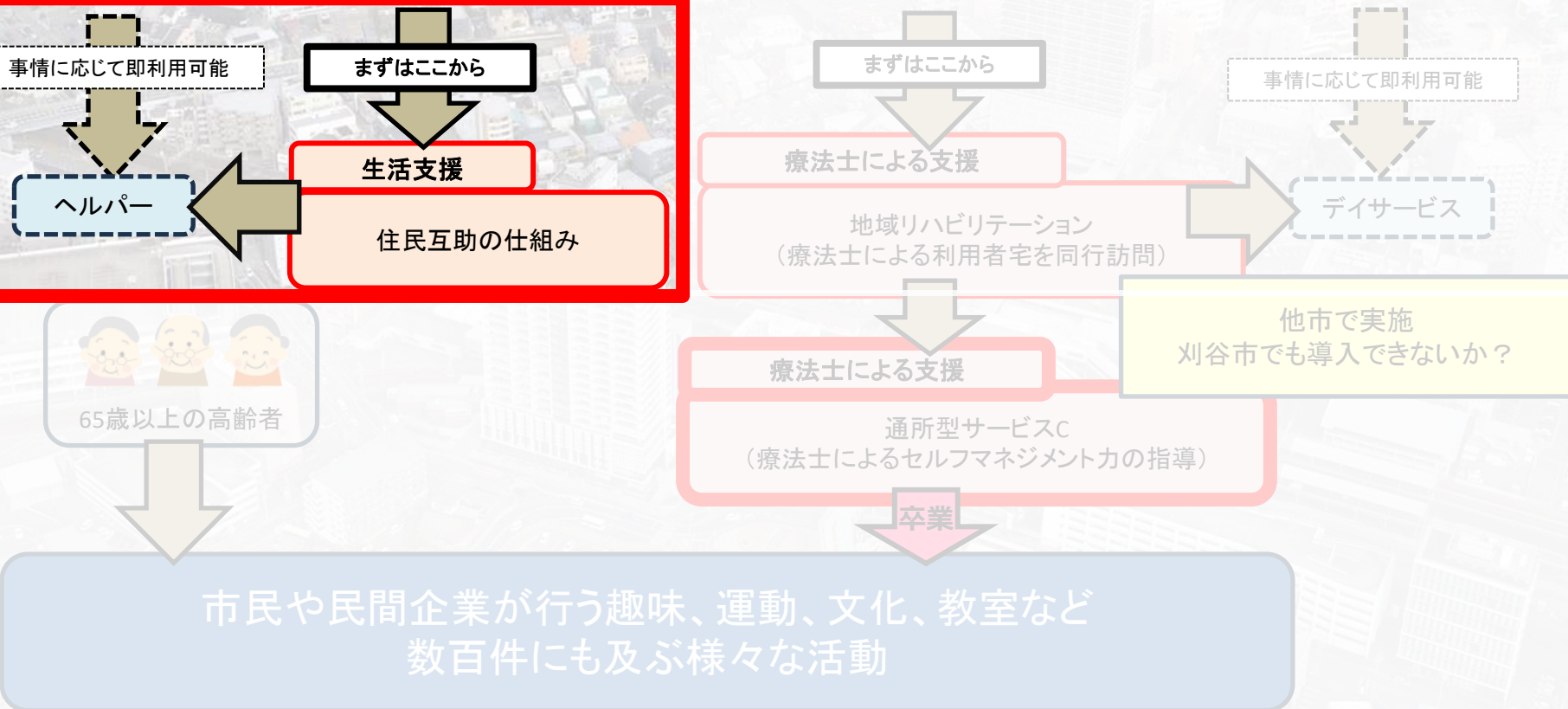
or



3 他市の総合事業の取り組み

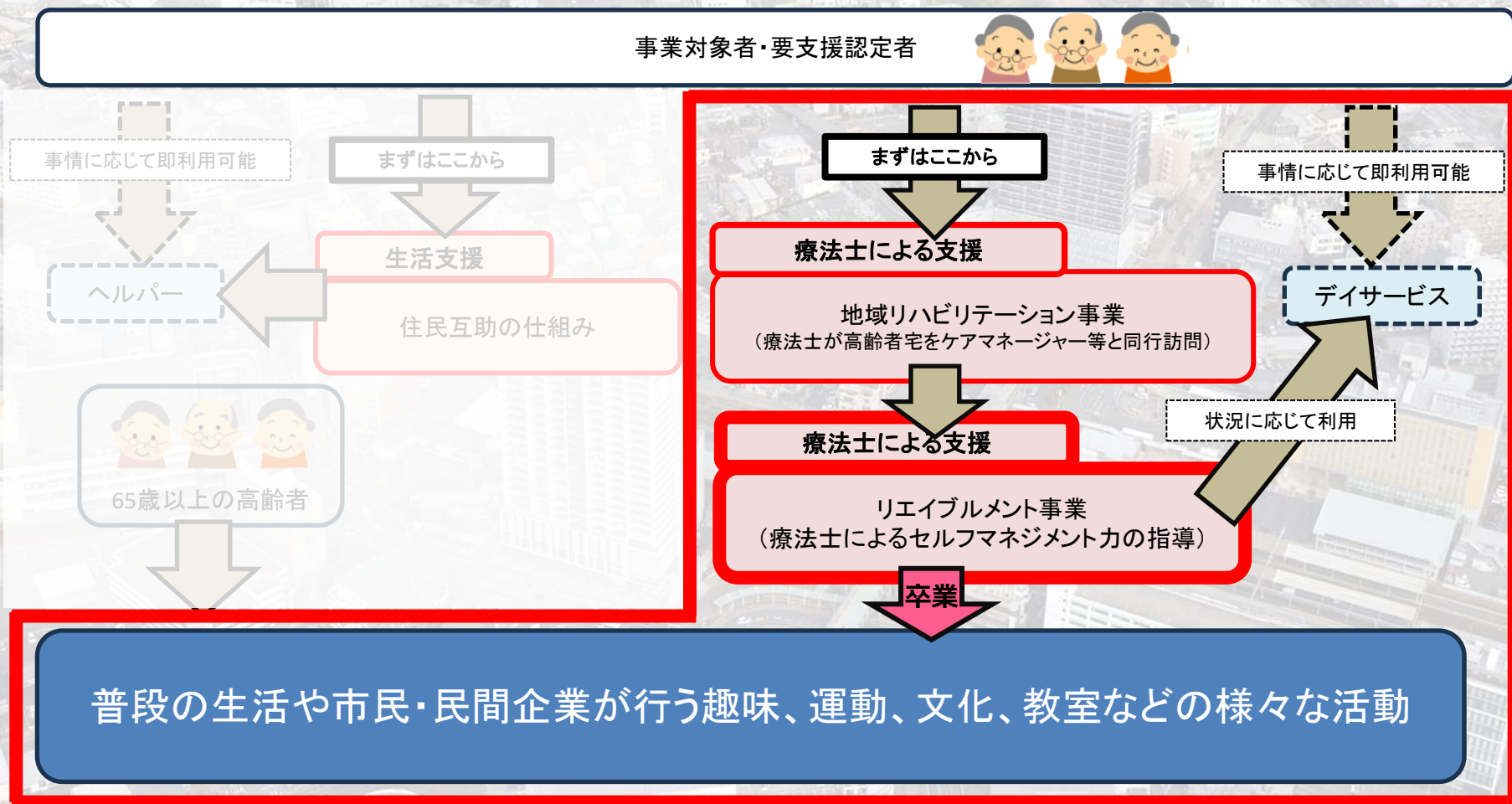
住民の互助による、生活の助け合いを中心とし、ヘルパーは介助を必要とする場面で活躍

事業対象者・要支援認定者



3 他市の総合事業の取り組み

高齢者自身が明確な目標に向かって、セルフマネジメント力をつけ、サービスに頼らない自分を作っていく



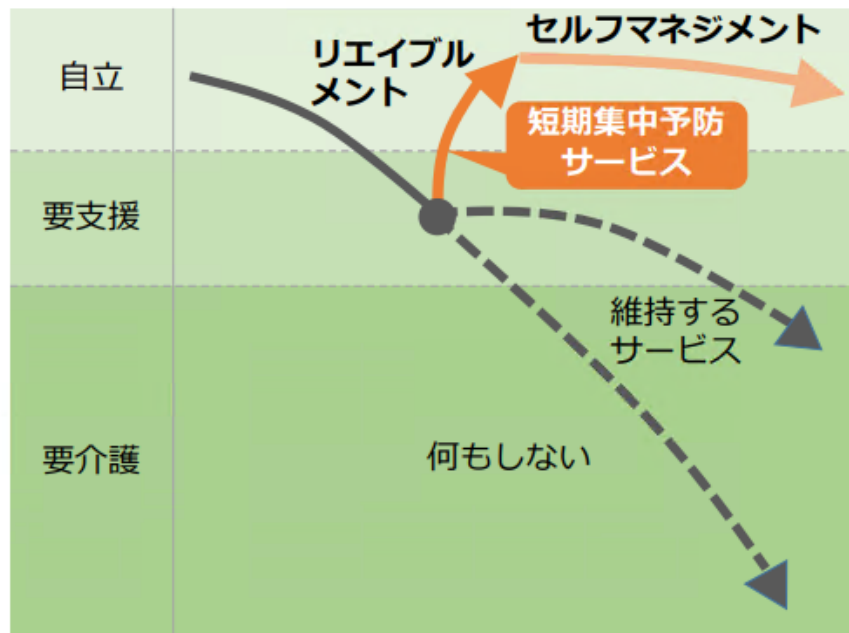
3 他市の総合事業の取り組み

リエイブルメント・サービスとは	「再びできるようになる」ことの意味で、高齢や病気などで日常生活がしづらくなった場合に「してあげる支援」ではなく、「元の生活を取り戻す支援」を行います。 イギリスやデンマーク、アメリカなどの諸外国で実施され、注目の介護予防の考え方。
導入自治体	寝屋川市(大阪府)、防府市(山口県)、相模原市(神奈川県)、西東京市・府中市・八王子市(東京都)、盛岡市(岩手県) など
対象者	事業対象者・要支援認定者
サービスの特徴	○期間限定のサービス ○リハビリテーション専門職を中心に集中的に介入する ○身体機能の回復だけでなく、社会生活の回復を目標とする ⇒対象者に触れず、施設で器具を使ったトレーニングではなく、動機づけの面談が中心 ⇒自信と能力を取り戻し、セルフマネジメントを獲得する

3 他市の総合事業の取り組み

自分らしい暮らしの再構築

- ・ 3か月間(計12回)、リハビリテーション専門職が中心となり、面談を通じて、自信や意欲を引き出し、生活課題の改善や健康維持に必要な助言等を行うことで、リエイブルメント(再自立)を図り、セルフマネジメント力の向上を目指す。



資料: 相模原市HP

3 他市の総合事業の取り組み

利用者同士で情報共有して刺激し合うことも……

1人ずつ面談

①面談（動機づけ面接）

- ・ 毎回（全12回）、個別での面談時間を設け、ご本人の想いをお聴きしながら、望む暮らしの実現に向けて、取り組むことについて、一緒に考えます。
- ・ 1週間の生活をシートに記入し、通所日以外の6日間の過ごし方について、一緒に考え、自信をもって生活ができるようにご本人の強みやできていることなどをお伝えします。



3 他市の総合事業の取り組み

②身体の状態に応じた個別プログラム作成

- ・ 身体の状態を評価して、生活のしづらさの原因をつきとめます。また、生活機能を向上させる個別プログラムを作成し、自分自身で取り組めるように支援します。
- ・ 段階的にステップアップしていきます。
- ・ 歯科衛生士や、管理栄養士による口腔・栄養プログラムも実施



資料：相模原市HP

3 他市の総合事業の取り組み

③社会参加に向けた支援

- ・「①面談」とは別に訪問プログラム(計3回)があります。自宅内での生活動作練習や、住環境の調整(住宅改修のアドバイス)、地域活動や趣味・スポーツなどの自分がやりたい社会参加に向けた外出経路の確認などのサポートを行います。



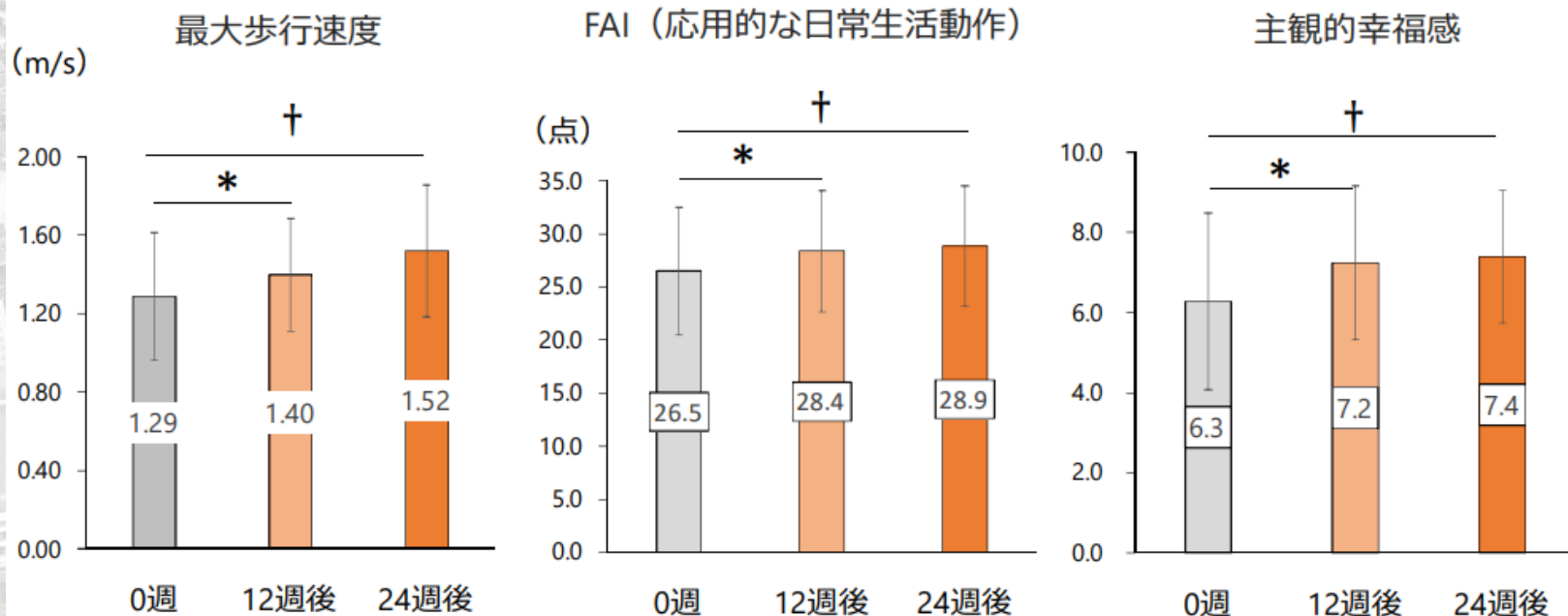
資料:相模原市HP

3 他市の総合事業の取り組み

実施結果から見える短期集中予防サービスの効果

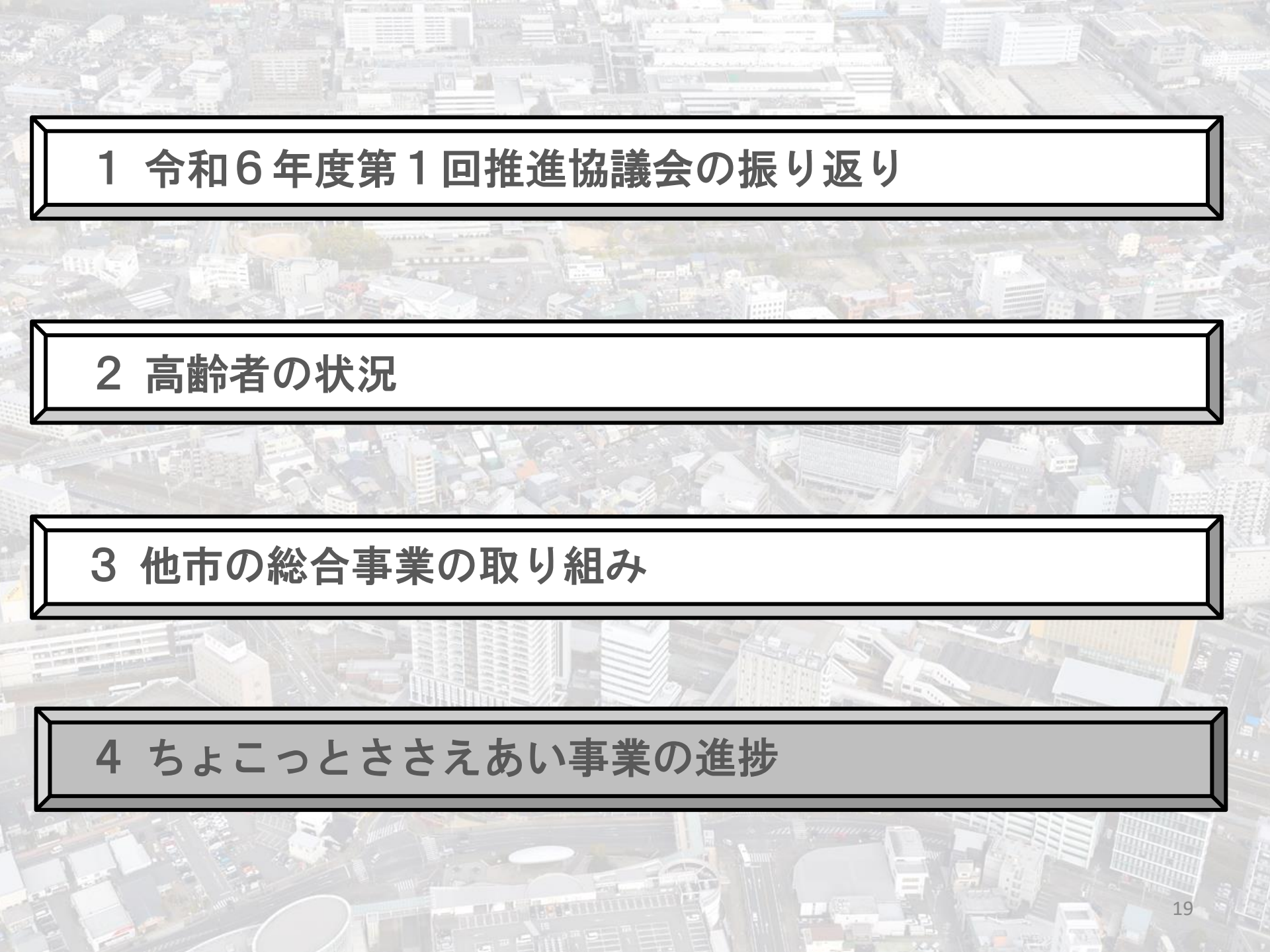
身体・生活・心理機能の変化

※ 12週間後＝サービス終了のタイミング



資料：相模原市HP

相模原市では、サービス利用者の **72%**（令和4年度実績）が、介護のサービスを利用せず、再びいきいきと生活ができるようになっている。



1 令和6年度第1回推進協議会の振り返り

2 高齢者の状況

3 他市の総合事業の取り組み

4 ちょっととささえあい事業の進捗

4 ちょっとささえあい事業

言葉の意味は？

《センター名》

ちょっとささえあいセンター

三河弁で
「少し」の意味



「支え合い」
の意味



日々の「少し」の「支え合い」で
高齢者の生活を支えることを表現

《場所》

刈谷市民交流センター1階

(刈谷市役所の向かいにある建物)



《受付日時》

火～土曜日 午前9時から午後5時まで

休み：日・月曜日（祝日の場合はその翌日も）、年末年始、
祝日（土曜日が祝日の場合は営業日）

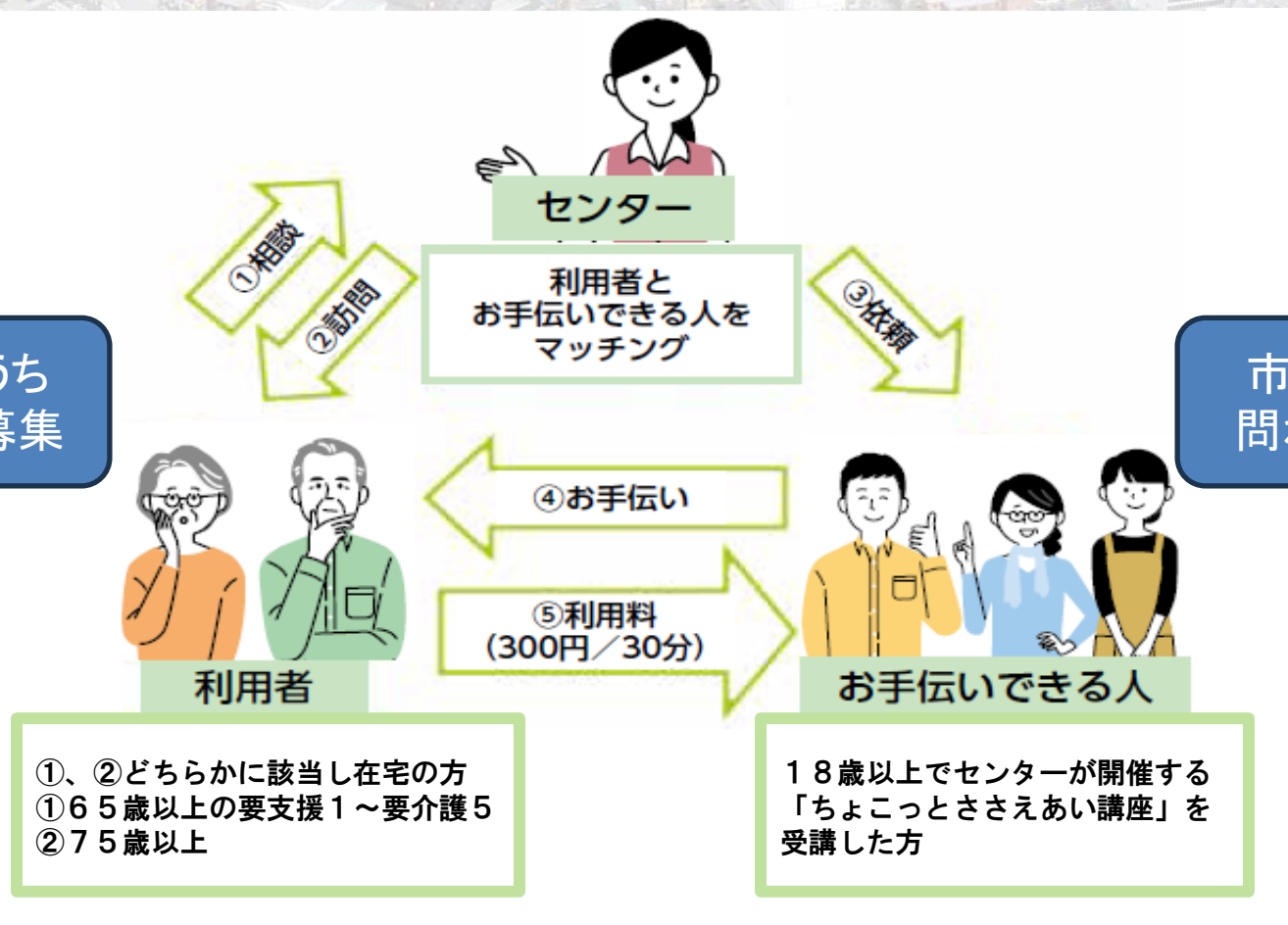
4 ちょっとささえあい事業

困りごとの依頼内容例

- ①簡単な掃除 ②買い物 ③調理 ④ごみ出し ⑤簡単な縫い物 ⑥電球、電池交換 ⑦家具の移動 ⑧花、植木の水やり
⑨話し相手 ⑩通院、買い物等の外出付き添い ⑪簡単な家具の補修 ⑫狭い範囲の草取り ⑬簡単な剪定 ⑭その他

23地区のうち
6地区から募集

市内・市外
問わず募集



4 ちょっととささえあい事業

課題

- ・要支援・要介護認定者の増加
- ・介護人材の不足により、サポートを必要とする高齢者の日常生活が今後さらに困難になる

ちょっととささえあいを行うことで

課題解決を支援



生活支援自体が社会参加活動となり、サポーターが高齢者の場合、介護予防につながる



住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり



年齢や職種など垣根のないサポーター(担い手)の発掘・養成

副産物

- ・利用者から感謝される⇒生きがいにつながる
- ・住民が地域に意識をもつ
(利用者を日頃から気にする、災害時に気にする)
- ・利用制限のない生活支援の創出
- ・介護給付費の抑制

など

4 ちょこっとささえあい事業

ちょこっとささえあいの取り組みは、先進事例として豊明市が挙げられます。
南医療生協病院が行う「おたがいさま運動（無償の支え合い活動）」に豊明市が注目したことが
きっかけとなり、事業化し、豊明市全域に広がる活動となりました。

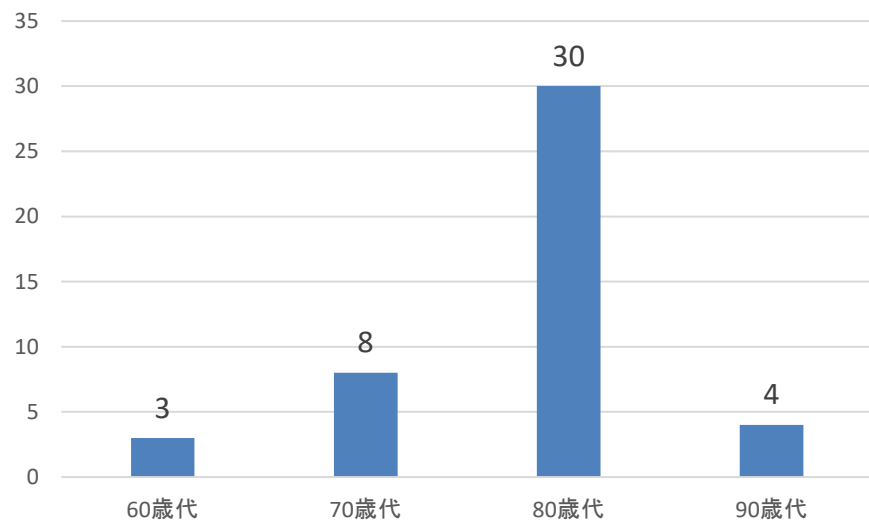
	豊明市	刈谷市
センター名	おたがいさまセンター ちゃっと	ちょこっとささえあいセンター
場所	豊明市共生交流プラザカラット	刈谷市民交流センター
受託者	協働事業（南医療生協病院 他2者）	NPO法人ラルあゆみ
開始時期	平成29年11月	令和6年6月
事業内容	・サポーター講座の企画、・サポーター・利用者の登録、・サポーター・利用者のマッチング、 ・サポーター同士の交流会の実施 など	
活動地域	市内全域	市内23地区のうち6地区
活動地域の人口	68,727人 （H30.3当時）	49,596人 （R6.1当時）
サポーター登録数	107人 （H30.3当時） R5:411人	138人 （R7.1.22現在）
利用者登録数	37人 （H30.3当時） R5:576人	45人 （R7.1.22現在）
サポート数	135回 （H30.3当時） R5 年間:4,278回	176回 （R7.1.22現在）
		

4 ちょっとささえあい事業

- ・利用者は80歳代の割合が高く、全体の約70%を占める
- ・サポーターは50～70歳代の割合が高く、全体の約75%を占める

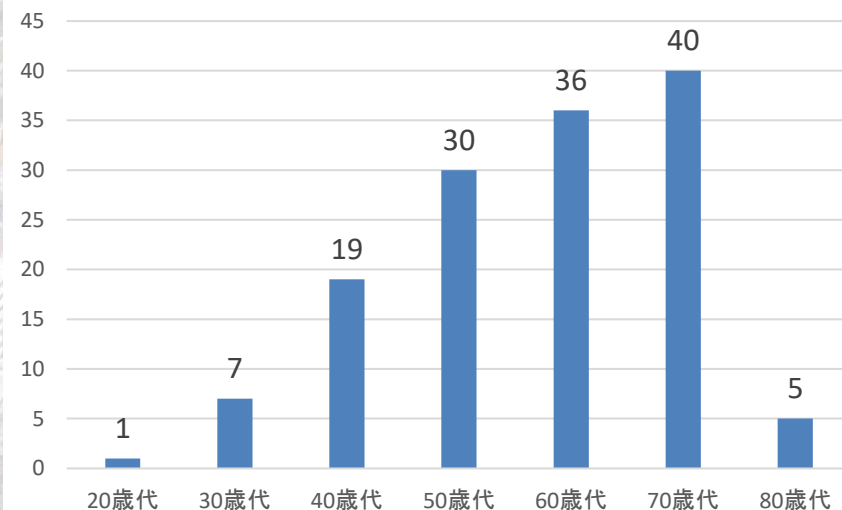
利用者の年代内訳

単位:人



サポーターの年代内訳

単位:人



4 ちょっとささえあい事業

【モデル実施から見えてきたもの】

- ・ 40～64歳で特定疾病が原因で要支援・要介護認定を受けた方への対応が必要
- ・ 買い物や掃除など軽度な生活支援が、ヘルパー不足により利用ができなくなっている

- ① 支援を必要とする事業対象者へも拡大
- ② 介助が必要な食事や入浴介助はヘルパーの専門性を活かす

・
・
・

	現在の対象者	検討中の対象者
要件	・65歳～74歳の要支援・介護認定者 ・75歳以上	・要支援、介護認定者 ・75歳以上 ・事業対象者

拡大

【課題】

- ・ 自身で行うことができるにも関わらず、お手伝いさんのような利用にどう対応していくか
- ・ 自身で行わないことにより、できることが少なくなる可能性があることへの説明

お手伝いでサポーターの気持ちの低下につながることも・・・

4 ちょっとささえあい事業

第1回の会議において、いただいた意見を反映することができました。
より良い事業に向けてご意見をいただきたいと思います。

協議事項

ちょっとささえあいを推進していくにあたり、サポーターの発掘は必要不可欠です。

またサポーター獲得には、多様な主体による協働が必要となります。
センターは市民、企業、団体、学校等にどのように関わることでサポーターの発掘・獲得につなげられるのでしょうか。